

- ▶ 高大連携事業「出張授業」
- ▶ 地域連携推進プログラム
- ▶ 小・中学校連携推進プログラム



学校法人

和泉短期大学



保育・福祉系授業や体験学習を 和泉短期大学教員が担当します



授業の一コマを担当 @県立相模原高校

授業内容や生徒さんの興味関心に合わせた実施が可能です。専門的立場から展開を図りたい内容や、取り上げにくさを感じておられる内容について本学の専門的知見をお役立ていただけます。

「家庭基礎」の授業で、福祉体験をしました。介護ってお年寄りのケアが仕事だと思っていたけれど、心を支える仕事だと学び、イメージが変わりました。

(高校生voice)



助言講師として @都立松が谷高校

授業のまとめ発表に伺い、講評及びテーマに合わせた講義を行いました。

年間プログラムへのアドバイスを継続的に行うこともできます。

大学の先生に見ていただくのは緊張しましたが、良いところをたくさん褒めていただけたので自信になりました。保育の学びを続けたいです。(高校生voice)



小学校・中学校との連携 @市立麻溝台中学校

【本学はさがリス*にエントリーしています！】

中学校「福祉体験」にて車椅子・白杖・高齢者疑似体験や小学校「総合学習の時間」にて赤ちゃん人形の抱っこ体験を行いました。必要な備品は短大からお持ちすることが可能です。

講師の先生方のお話や車椅子操作・白杖体験を通して、「互いに支え合うことの大切さ」について学びを深めることができました。(中学生voice)

*さがリス＝相模原市教育委員会さがそうみらいプロジェクトサポーターズリスト



幼稚園、保育園、認定こども園との連携

高校人形劇サークルに来校いただき、連携園の子ども達や保育者に観劇いただきました。保育現場インターンシップの事前・事後学習に本学教員が出向き、授業をすることもできます。

子ども達が喜んでくれたのが嬉しかったです。和泉短大の校内見学や学食体験もでき、進学へのイメージが沸きました。(高校生voice)



高大接続とは

高大接続改革は、高校教育と大学教育・入試をより密接に連携させることで、多様な学力や能力を評価できる教育制度を目指す取り組みです。

高大接続は「高校を終えて大学へ進む」関係のことを指します。この「高大接続」を円滑にするための手段の一つが「高大連携」であり、本学における高大連携事業のひとつが出張授業です。

★御校と和泉短大が直接やりとりを行うため、ニーズにあった内容での実施が可能です。



授業実績

保育・幼児教育系

「子どもの心理とは」「保育者の仕事って？」
「赤ちゃんを知ろう」「保育者養成校での学び」
「子どもの身近な環境」「子どもの発達と保育」
「子どもの栄養・食事・睡眠など」
「保育現場インターンシップの事前・事後学習」など

福祉系

「社会福祉への正しい理解と協働」
「子どもの権利」「子ども虐待防止」
「障がいのある子どもと保育」
「認知症の理解」「介護技術体験」
「オレンジリボン活動を体験しよう」
「車椅子操作」「白杖体験」など

表現・体験系

「子どもとの関係をつくる音楽表現」
「子どもとコミュニケーションする歌遊び」
「絵本の読み聞かせ」「おもちゃと遊びの世界」
「幼児と運動」「こころとからだの健康」
「作って遊ぼう」など

【実施学校(一部抜粋・順不同)】

相模原高校、秦野総合高校、秦野曾屋高校、山崎高校
野津田高校、日野高校、大井高校、瀬谷西高校、吉田
島高校、厚木東高校、厚木商業高校、旭丘高校、相洋
高校、津久井高校、松が谷高校、相模原城山高校、
緑が丘女子高校、相模田名高校、町田工科高校
麻溝台中学校／緑台小学校(6年生)／夢の丘小学校
(4年生)

地域連携活動

大学も学生も「地域の一員」です。地域の発展や地域人材の育成に貢献したいと考えております。教育連携を通じて地域の中核となる魅力ある短期大学を目指しています。お気軽にご相談ください。

実施手順

- ①御校より「日程候補日、授業テーマ」をご依頼いただく
- ②本学にて調整、ご回答
- ③御校に本学教員が何う、または本学にお越しいただき授業実施

費用

費用はかかりません

お問合せ

お電話よりお気軽にどうぞ
担当：広報渉外ユニット

詳細はこちら



042-754-1133

和泉短期大学 児童福祉学科
専攻科 ヒューマンケア専攻

〒252-5222 神奈川県相模原市中央区青葉2-2-1

